

株式会社マダム
2023年3月期 第1四半期決算説明会 Web会議 主な質疑応答（要約）

1. 国内の増収額における、夏シーズン品の割合はどの程度か？

⇒ 日本増収額727百万円で、その大半は夏シーズン品によるものだった。

2. 国内女性事業が減収となった要因は？そして2Q以降の挽回策は？

⇒ LCLオイルが市場での競争激化の影響を受けて売上減少、マダム女性用夏シーズン品のアイテム数を絞り込みしたことによる売上減少、その他女性コスメタリー製品の前期からの売上減少による。

LCLは秋冬の新製品で酸熱トリートメントを準備しており挽回を期待している。

3. 国内における新型コロナウイルス影響も踏まえた足下の状況は？

⇒ 高温の日が続いているので夏シーズン品を中心に前年を上回る推移ではあるが、現在第7波ということになっており、予断を許さないと見ている。

4. 「海外その他」の売上高がコロナ禍初年度水準まで戻った要因は？

⇒ マレーシアの2社の増収によるところが大きい。

社会制限も発動されず、人流が着実に拡大した影響が一番大きい。

ACGI社はコロナ禍においてデジタルマーケティングを強化した成果も出ている。

5. 広告宣伝費が1Qでは半減したのか？期ズレさせた理由と、通期の計画はどうなっているか？

⇒ 広告宣伝費は前年比4割程度減少しているが、効率的な使用タイミングを鑑み、2Q以降に投下する予定。予算は、対売上比率で考えており、販売促進費を合わせたA&P費で10%以内に抑える予定である。

6. 広告宣伝費を1Qで減少させた理由は？

⇒ 媒体はTVからWEBへシフトして効率化しているが削減するつもりではない。最適タイミングを見て期中には投下する。

7. 単価を上昇させたと言っていた、シーズン品以外の春の新製品の動向はどうか？

⇒ インフォメーションした通り春の新製品は希望小売価格を30%ほどアップさせたが、残念ながら売上貢献は小さい。この秋冬新製品も70%アップさせて高付加価値化を実践している。すぐに業績貢献することは難しいと思うが、粛々とポートフォリオのシフトを進めていく。

8. 夏シーズン品の前倒し発注が起きているとのことだが、7月の動向は？

⇒ 6月後半の猛暑により、7月初旬には店頭在庫が薄くなって出荷が増加した。前年に比べれば間違いなく好調に推移していると思う。今後の出荷見通しに関しては店頭の消化状況を分析しないといけないと考えている。

9. ペーパー製品の競合との市場シェアはどうなっているか？

⇒ 今シーズンは戦略的に競合との価格差を縮めており、今までのところシェアについては昨年から大きな変化はなく、シーズン中これを維持していきたい。

10. 業績については概ね計画通りとのことだが、2Qの営業利益は1億円以上出るのではないか？

⇒ 費用に関して、広告宣伝費をはじめ、研究開発費等も2Q以降に投下する計画である。一方、新型コロナウイルスの状況は不透明であり、2Q期間には中国ロックダウンの影響も出てくることを鑑み、見通しについては上方修正するに至らないと考えている。

11. 海外その他が非常に良く見えるが、これは持続すると考えてよいのか？

⇒ 通期見通しには中国のロックダウンは織り込んでいなかった。しかしながら、マレーシアの2社が非常に好調で2Q以降も期待できると見ている。その貢献で通期では中国の下振れ分をカバーして計画値通りの業績と見ている。

12. 営業利益は上期見通しまで残り1億だが、これは社内見直し通りか？それでも楽観視は出来ない？

⇒ 1Qの営業利益に関していえば、販売費の減少の影響が大きかった。しかし、これは2Q以降に投下する計画であることと、売上面で新型コロナウイルス、中国ロックダウンなどリスク要因も多いため全く楽観はしておらず2Qおよび通期の見直しは現状変更無しとしている。

13. 夏シーズン品の販売戦略に関して、柔軟な価格戦略や、ストアとの取組みの進捗状況は？

⇒ 把握している範囲では、ボディペーパーでは昨年100円程度の価格差があったと認識しているが今年は50円程度に縮まっている店が多い。合わせて、プロモーション店数の拡大に取り組んでいるところ。

14. ボディペーパーとフェイシャルペーパーの売上比率は？

⇒ おおよそ6:4程度と理解して頂いて問題ない。

15. 夏シーズン品の1Qセルイン（出荷実績）レベルは2Qにも期待できるか？また、セルインとセルアウト（市場実績）のギャップは出していないか？

⇒ シーズン品は最需要期前から売場づくりを行う性格上セルイン先行になり、7月がそのピークとなる。一方、セルアウトのピークは8月中旬となるので、今後は店頭でいかに消化するかが重要となる。

16. 期ズレで未使用の広告宣伝費は2Qに投下をするのか？それ以降になる可能性もあるか？

⇒ 2Qに使用を計画している。

注意事項

本資料に記載の内容は、フェアディスクロージャの観点から、決算説明会の質疑をもとに要約した当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更される可能性があります。なお、本資料に記載されている業績見通しや将来予測などに関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を約束する趣旨のものではありません。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。